

『外科専門医受験のための演習問題と解説 第1集(増補版)』 正誤表

このたびは『外科専門医受験のための演習問題と解説 第1集(増補版)』をご購入いただきまして誠にありがとうございます。第1刷(2016年4月1日発行)、第2刷(2018年11月1日)、第3刷(2021年9月1日発行)におきまして、以下の誤りがございました。ここに訂正させていただきますとともに深くお詫び申し上げます。

2017年7月31日作成 2024年3月15日更新

刷数	訂正箇所	誤	正	掲載
1	62 頁・問 20 解説の 10 行目 (頁内最下行)	胆道癌の発生頻度が高く、拡張型 <u>は胆管癌、非拡張型では胆嚢癌の 合併が多い。</u> …	胆道癌の発生頻度が高く、拡張型 では胆嚢癌・胆管癌のいずれも多 く発生し、非拡張型では主に胆嚢 癌が発生し胆管癌はまれである。 …	2017/7/31
1～3	85 頁・問 10 選択肢 e	e. Ross 手術は自己肺動脈を使用 した大動脈基部置換術である。	e. Ross 手術は自己肺動脈 弁 を使用 した大動脈基部置換術である。	2022/9/8
1～3	86 頁・問 10 解説の 10 行目	Ross 手術は自己肺動脈を使用し た大動脈基部置換術であり記載は 正しい。	Ross 手術は自己肺動脈 弁 を使用 した大動脈基部置換術であり記載 は正しい。	2022/9/8
1, 2	87 頁・問 12 解説の 4 行目	b, c, <u>d</u> の所見は認めずいずれも誤 り。	b, c, <u>e</u> の所見は認めずいずれも誤 り。	2022/7/6
1～3	147 頁・問 5 解説の 3～5 行目	現在、遺伝カウンセリングや <i>BRCA1/2</i> の遺伝子検査には保険 適用がなく、体制が整っていると はいいがたいが遺伝カウンセリング は勧められるべき選択肢であ る。	※左記の一文を削除 (注: 2020 年 4 月より、60 歳以 下でトリプルネガティブ乳癌を発 症した患者さんに対する <i>BRCA1/2</i> 遺伝子検査は保険適用 となりました)	2022/7/6
1～3	147 頁・問 5 解説の 7 行目	<u>Z</u> PMN	IPMN	2022/7/6
1～3	241 頁・問 6	※肺動脈血栓塞栓症のリスクとし て考えにくいものを選ばせる問題 で、「d. 下肢静脈瘤」を正解の選択 肢とし、解説している。	※「下肢静脈瘤」はガイドライン で肺血栓塞栓症と深部静脈血栓症 の危険因子として挙げられてお り、この問題は <u>不適切問題</u> でした。 深くお詫び申し上げます。	2024/3/15
1～3	242 頁・問 7 選択肢 c	c. 手術創の清浄度は、清潔、準清 潔、 <u>汚染/感染</u> の <u>3</u> つに分類され る。	c. 手術創の清浄度は、清潔、準清 潔、 <u>汚染</u> 、 <u>感染</u> の <u>4</u> つに分類され る。	2024/3/15
1～3	242 頁・問 7 解説の 7 行目	手術創の清浄度は、①清潔、②準 清潔、③ <u>汚染/感染</u> の <u>3</u> つに分類さ れる。	手術創の清浄度は、①清潔、②準 清潔、③ <u>汚染</u> 、④ <u>感染</u> の <u>4</u> つに分 類される。	2024/3/15
1	266 頁・Q217	動脈 <u>幹</u> 開存症の病態が…	動脈 <u>管</u> 開存症の病態が…	2017/7/31

